



「かえりみる」ことの大切さを子どもと共に

校長 金 井 建 憲

1学期も残すところ4週間を切りました。学校生活のリズムも定着し、毎日元気いっぱい学んだり遊んだりする子どもたちの声が響き渡っています。それにもない、怪我や体調不良等で保健室に来室する子も増えています。7月からは夏の暑さが増してくる季節でもあるので、熱中症予防に十分気をつけ、安心・安全を第一に考えた教育活動を進めていきます。

さて、6月10日(水)は修学旅行、6月15日(月)は避難訓練、6月19日(金)は春の遠足を予定通り実施することができました。「その場で自分は何をしないといけないか」をしっかりと考えて取り組む良い機会となりました。特に、今回の避難訓練は「休み時間に火災が発生した」という状況を想定し、前もって子どもたちに知らせずに行いました。緊急放送を聞き、「自分の命を守るために、どうすべきか」を考え、自分たちで安全に避難する子が多くいる中、真剣に取り組めていない子もいました。他の行事や普段の生活の様子においても、ふざけたり、落ち着きがなかったり、相手を傷つけたりするのが常態化している姿が見られていたので、「かえりみる」ことを促すような指導を場面ごとに取り入れています。

「かえりみる」には、2つあります。

- 1 顧みる・・・過去のことを思う、振り返ってみる、気を配る
- 2 省みる・・・自分の行いの善悪を考え直す

1は自分以外も含めた広い範囲であるのに対し、2は「内省」や「反省」という言葉でも表現されるように自分が主語となります。

例えば、集団の中に大きな声でふざけるなど、周りの人に迷惑をかける子がいます。そのような子は、「自分は楽しい」という自己中心的な言動をしてしまいます。でも、それが周りの人の楽しさや幸せの邪魔をしていたとするとどうでしょう。結果、その集団は協調性のない不安定な状態になり、居心地の悪い場となります。そうならないためにも、小学校で「かえりみる」姿勢を身につけさせ、【周りの状況を顧みて、自分の行動を省みる】ことができれば、中学校においても大きな力になると考えます。

先日、『頑張っていてほしい』という私の思いから「それでいいのか?」と厳しく問いかける場面がありました。その後、しっかりとリアクションしてくれる子が多くいることに安心したと同時に、子どもに「かえりみる」時間を設定することの大切さを強く感じました。昔から聞く「そこで反省していなさい」という大人の声かけは、この視点で考えると子と思う温かい指導に聞こえます。ぜひ、ご家庭でも省みさせてみてください。

修学旅行



避難訓練



春の遠足



専科指導について

本校では「教職員定数加配事業」を活用し、3～6年外国語、5・6年理科、3～6年体育、3年図工、4年理科での専科指導と、全学年の算数でTT(習熟度)学習を行っています。

今年の学校教育目標「学び・成長を止めない子どもの育成～わかるかも できるかも～」の達成に向かって、子どもたち一人ひとりが「やってみたい」「楽しい」「わかった」と実感し、主体的に学びに向かえるよう、日々工夫しながら指導に取り組んでいます。



6年 知産志食

「おたるの魚料理教室たところ」の宮部由里子さんを講師に迎え、地産地消の大切さを学ぶ食育学習が行われました。知産志食とは「産地を知って、後志の食材を食べよう」という考え方で、今年度は市内10校で授業が行われています。小樽のニシンのおいしいメニューや旬のアスパラなど、身近な食材がたくさん出てきて、地元の食材の豊富さを再確認することができました。9月には実習も予定されています。



149 → 150

「桜小のぼうけんコース」

桜小学校には「ぼうけんコース」があります。

自然を感じて遊べる、子どもたちが大好きな遊び場です。

休み時間になると子どもたちが一目散にやってきて、楽しそうに遊んでいます。たくさんの松ぼっくりが採れたり、色々な虫がいたりしますし、木陰は涼しいです。

ぼうけんコースの工事は平成元年に始まりました。保護者・地域の方も遊んだことがある方がおられるのではないかと思います。長く大事に残したい場所だなあと感じます。

毎年7月、子どもたちが安全に遊べるようにと、PTAの皆さんが中心となって、草刈り作業を行っています。今年は7月11日(土)7時から作業があります。



★お知らせ★ 今回から学校だよりを tetoru 配信しています。ホームページでは、色々な資料や学校生活の様子を掲載していますのでご覧ください。